広報

さわかみ

1998 JUN.
6
平成10年 No.534



［特集］

子どもの言い分、親の言い分

普段の生活の中で、多少なりとも子どもの言い分、それに親の言い分があると思います。思春期、反抗期を迎える時期ともなればなおさらのこと。それには、なかなか面と向かって言えない本音も隠されているかもしれません。そこで、鮫川中学校の三年生八十一人と、その保護者の皆さんを対象に「親子アンケート」を行いました。その集計結果がまとまりましたのでお知らせします。



〔撮影協力〕赤坂和子さん・裕さん親子（中野町在住）

親に悩みを話したくない

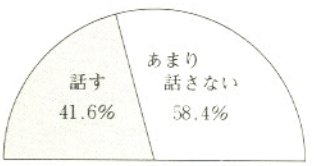
中学生　問1　あなたは、親に悩み事などを話しますか。

「話す」と答えた人が四一・六%、「あまり話さない」が五八・四%となり、六割近くの人は親に悩み事などを話さないという結果でした。

「あまり話さない」理由　信用できないから、話してもムダ、友達などと話しているから、話したくない、話したいとき親が忙しい、あまり得るものがない、話す必要もない、面倒だ、など。

中学生対象

問1　あなたは、親に悩み事などを話しますか。



親子アンケート

【中学生対象】
対象者数　81人、回答者数　77人（男35人　女42人）、回収率　95.1%

【保護者対象】
対象者数　81人、回答者数　67人、回収率　82.7%



何を言っても「聞く耳持たず」

保護者 問1　あなたのお子さんは、悩み事などを親に話しますか。

「話す」と答えた人が全体の半数近くの四九・三%、「あまり話さない」が五〇・七%でした。

中学生 問2　親は、あなたの悩み事を聞いてくれますか。

「聞いてくれる」と答えた人が七二・七%、「あまり聞いてくれない」が二六・〇%となり、十人に七人の親は、悩みを聞いてくれているようです。

保護者 問2　あなたは、お子さんの悩み事を聞いてあげていますか。

「聞いている」が七〇・一%、「あまり聞いていない」が二九・九%でした。

「あまり聞いていない」理由　話してくれない、姉に相談している、すれ違いが多い、話したがらないので無理に聞き出せない、あまり親が入っていけないこともある、など。

中学生 問3　あなたは、親に対して不満（ムカツクこと）がありますか。

「ある」と答えた人が全体の六割近くを占める五八・四%、「ない」が四一・六%となっています。

「ある」の理由　必要以上に怒る、少しは子のこと考えろ、口うるさい、話を聞いてくれない、親は自分勝手、理屈だけを並べる、差別する、八つ当たりするから、など。

保護者 問3　あなたのお子さんは、親に対して不満を持っていると思いますか。

「持っている」と思うと答えた人が五二・二%、「持っていない」が四七・八%となりました。

「持っている」と思う理由　すぐに叱るから、自分の自由にならないから、要求を聞いてあげないから、親が忙しいから、満点の親はいない、多少なり誰でもある、年齢的に当然、など。

中学生 問4　あなたの気持ちを、親は理解していると思いますか。

「理解している」と答えた人が五四・五%、「理解していない」が四四・二%でした。

「理解していない」と思う理由　信じてくれない、何となく、何を言っても「聞く耳持たず」だから、ときどき違ったとらえ方をする、理解してほしくない、など。

保護者 問4　あなたは、お子さんの気持ちを理解していますか。

「理解しているつもり」と答えた人が全体の九割を占める九一・〇%、「理解できない」が九・〇%となり、ほとんどの親が子どもの気持ちを「理解しているつもり」と答えています。

「理解できない」と思う理由　じっくりと話をする時間があまりないから、ときどき「キレる」ため、理解したいとは思っている、など。

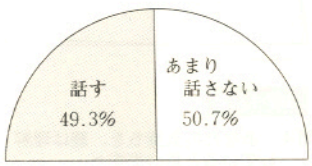
自分の子どもを信用している

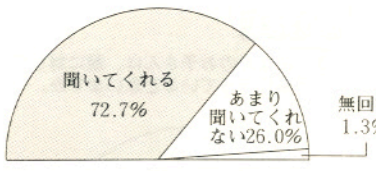
中学生 問5　あなたは、親に信用されていると思いますか。

「信用されている」と思うと答えた人が七二・七%、「信用されていない」

保護者対象

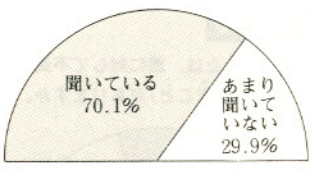
問1　あなたのお子さんは、悩み事などを親に話しますか。





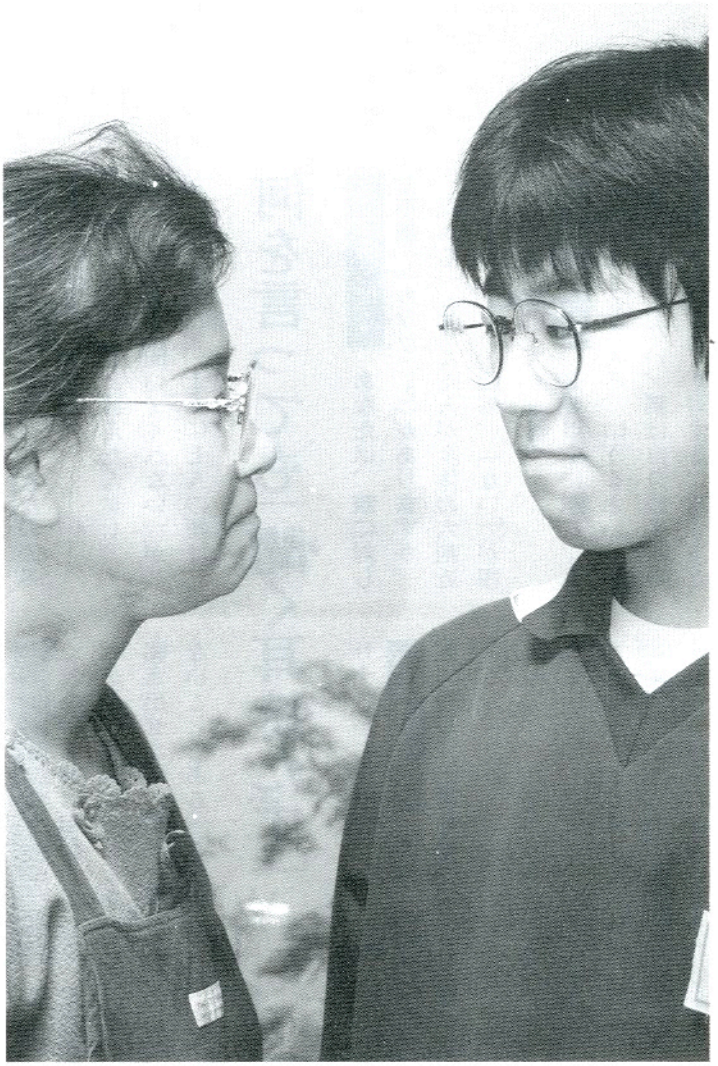
中学生対象

問2　親は、あなたの悩み事を聞いてくれますか。



保護者対象

問2　あなたは、お子さんの悩み事を聞いてあげていますか。



もっと会話を増やしたい

が二七・三%となり、十人に七人は親に信用されていると思っているようです。

「信用されていない」と思う理由　日ごろの行いが悪いから、何となく、気がきかないから、高校に行ったら下宿したいのに許してくれない、信用してほしくない、など

保護者　問5　**あなたは、自分のお子さんを信用していますか。**

「信用している」と答えた人が九五・五%、「信用していない」が四・五%となり、ほとんどの親が自分の子どもを信用しているようです。

中学生　問6　**親に対して言いたいこと、あなたの悩みなど。**

▼もう少し黙っていてほしい

▼親に対してすごく生意気なことを言ったり、するときがあります。そのときは、大人になってから恥ずかしい思いをしたくないのでビシバシ怒ってください。最近、自分勝手なことばかり言っているのにあまり怒られていないから、時には怒ってほしいです。なぜなら、親にあまり注意されていないから、先生に怒られるとすごく傷つくんです。

▼親は、いろいろな面で尊敬しています。でもときどき自己中心的で、人には注意するのに自分はやらないということがあるので（子どもたちから見るとみっともない）、そこを直してくれればもっと良くなると思う。自分自身にもっと自覚を持って行動してほしい。

▼私にも自分の考えがあるのだから、あまり口出ししてほしくない。すべてを否定されているようでいやだ。

▼親は自分勝手。高校の話だって真剣に聞いてくれないし、考えてもくれない。どこの高校に入ろうが知ったことではないという感じ。少しは自分の子が将来どうしたいのか考えてほしい。

▼大人って勝手ですよね。でもやっぱり、こう言っている子どもの方がそんなにも勝手ですか。

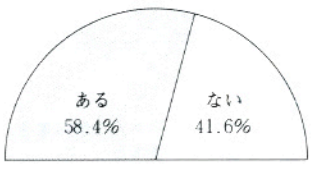
▼お父さんは、私が行動することすべて注意するけど、お父さんこそ間違った行動をする。お父さんとの会話がなくなってきたから会話を増やしたい。

▼毎回毎回、同じことを並べて理屈ばかり。自分が間違っていることでも、「親（大人）の言うことはきくものです」なんて、そんなの矛盾している。どうして「違う」って言っちゃだめなの。

▼「勉強、勉強」ってうるさい。しつ

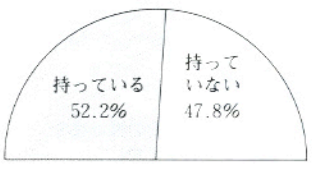
中学生対象

問3　あなたは、親に対して不満（ムカツクこと）がありますか。



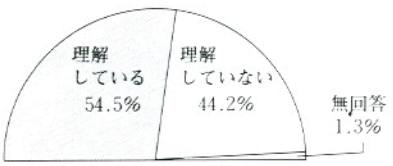
保護者対象

問3　あなたのお子さんは、親に対して不満を持っていると思いますか。



中学生対象

問4　あなたの気持ちを、親は理解していると思いますか。



こすぎる。電話で五分も話していないのにすぐ怒るな。ムカツク。

▼いつも迷惑ばかりかけて悪いなと思っています。長電話して悪いって思うけど、三十分は欲しいって思っています。わがままな子どもでごめんなさい。

▼時代というものには流れがあり、その時代、その時代と、多種多様な文化みたいなものがあっていいと思うのに、親は「ピアスはダメ」「茶髪はダメ」と言う。そう言うときは決まって「昔はなんとか…」と言う。これは、時代の流れに反している。エスカレーターを逆に行き来するのと同じことである。もっと子どもというものを理解してほしい。もっと子どもを自由にしてほしい。

▼進路が決っていないのが悩み。

▼金がない。

親は唯一の理解者になりたい

保護者 問6　お子さんに対して言いたいこと、親の持つ不安など。

子どもに対して言いたいこと

▼鮫川の子は優しくて、正直な子どもたちが多いと思い感心する。特に、立ち止まって誰にでもおじぎをする姿は、いつも心をすがすがしくしてくれる。

▼男の子だからかもしれないが、あまり話をしない（今、何に悩み、何に困っているのか）。黙って見守ることしかできないのか。何かアドバイスが必要なのか。テレパシーを発して、一人で悩まないでほしい。親は唯一の理解者になりたいと考えているのだから…。

▼いつまでも子供だと思っていたのに、少しずつ大人になっていく様子を見ていると、淋しいような気がします。親の方が大人になりきっていないのかな。

▼周りの子と同じく行動することに、異常なほど神経をつかっているように思う。（雨の日に傘をささない、雪の日に長靴をはかない、など。……の方がよほど異常なことなのだが、「みんなしていない」と拒否される）

▼みんなと一緒、みんなと同じでなく、自分らしさ、自分の信条を持ってほしい。

▼「時代が違うから」と一言で言ってしまう現代だが、「けじめ」と「礼儀」はきちんとつけられる人間になってほしい。うわべだけでなく中味では…。

より深い親子関係を望む

親の持つ不安など

▼ときどき、何を考えているのか分からないときがある。

▼昔とは、子どもをとりまく環境が相当違うせいか、子どもたちの意識もしっかりしているようで、実は自分の目標をなかなか決められずにいるような心の不安定さと、生きていくことに対する厳しさも足りないと思う。将来に対する不安を感じる。

▼鮫中生は礼儀がよく感心しているが、高校生になると生意気になったり、ふしだらになったり、あいさつができないなど、問題行為が多くなる。年齢の推移と精神状態の不安定、成長の過程と言ってしまえばそれまでだが、そのまま大人になってほしくない。

▼仕事上、すれ違いが多い。日曜日はなるべく一緒に過ごす努力をしたい。

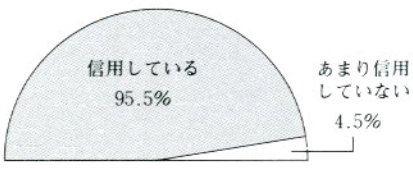
▼友達関係もよく、部活も頑張っているが、入試を控えて勉強をあまりしない。大人のテレビドラマを見たがる。親として子どもの頑張りをどううまく引き出すか悩む。

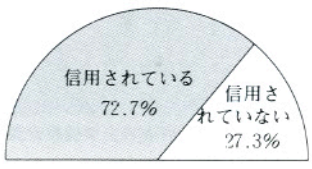
▼自分が育った環境と全然違うので、ものの考え方や見方を理解するのが大変。なるべく同じ目標で見ていこう。

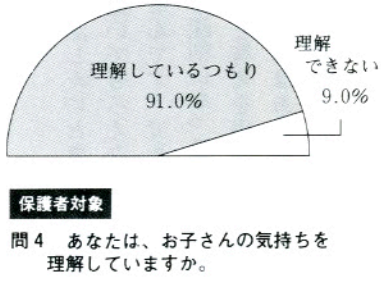
▼社会の中が複雑になってきているので、どう生きていけばよいか、親として道をつくってやる上でとても心配。

▼タバコを吸っている友達がいるらしく、そういう悪事に感化されないことを祈っている。

▼いじめ、ナイフなど、いろんな事件が報道されている中で、同じ中学生の子を持つ親として考えなければならない。子どもとよく話をし、より深い親子関係を持ちたい。







中学生の本音トーク
なんで比べるの。自分は自分なのに

アンケート調査では、中学生、保護者ともに、さまざまな本音が出てきました。ここでは、「中学生の本音トーク」と題し、鮫川中学校の三年生六人の皆さんにご協力をいただき、子どもの言い分について話していただきました。なお、話し合いの内容は四人の登場人物でまとめ、発言者の名前は伏せてあります。

話したいとき親が忙しい

司会　皆さん、こんにちは。今日の司会を務めます、教育委員会の堀川です。今日は、皆さんの本音を聞かせてください。よろしくお願いします。

先日行ったアンケートの結果によると、「親に悩みを話さない」と答えた人が多かったようですが、皆さんはどうですか。

C子　私は話します。友達関係のこととか、進路のこととか。

D子　話の内容によっては、親に話すのが恥ずかしいというのがあって、話さないことが多いです。でも、進路のことは親と相談しています。

A男　僕は話さないな。話しても無駄だもん。

司会　どうして。

A男　だって、親に頼りたいことがあっても、それに応えてくれないから。面倒くさいのかもしれない。

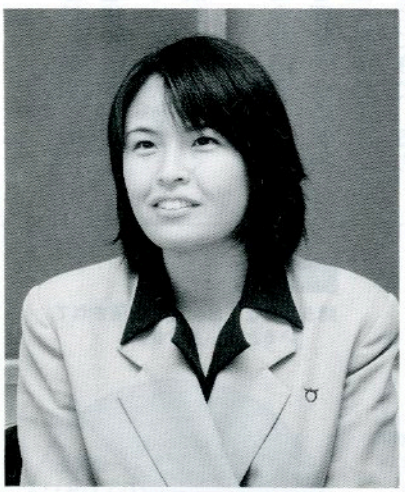
B男　話しにくいですよね。話す時間はあるけど、話したことに対して文句を言ってくるみたいなところがあるから…。

司会　そうですか。では、「親はあなたの悩み事を聞いてくれますか」という質問では、「聞いてくれる」と答えた人が結構多かったんですが、皆さんのお父さんやお母さんはどうかな。

D子　私の親は聞いてくれますね。じっくりと。

C子　話したいときに、親が忙しくて聞いてもらえないということがあるんです。でも、悩みなどを話すと深刻になって聞いてくれて、ちゃんと答えを出してくれます。

A男　親にはあまり話すことはないけど、話せばたぶん聞いてくれ



司会・村教育委員会学校教育課
堀川直美 主事

ると思うよ。

司会　そうですか。忙しくて聞けないぐらいで、話せば聞いてくれるんだね。

こんなときムカツク

司会　半数以上の人が、親に対して「ムカツクことがある」と答えていますが、どんなときにむかつくのかな。

B男　物事に対して、何でもしつこく言うことです。例えば、勉強しないとき、一回言えば分かるのに、何度も同じことを繰り返すんですよ。

A男　僕も同じだな。あと、勝手に僕の部屋に入って掃除とかされるとむかつきますね。

司会　そんなにいやですか。でも、ちらかっているんでしょ。（笑い）

C子　私は、自分の考えていることと意見が合わなかったりしたときにむかつきますね。私が何かやりたいと思ったときに、親が「駄目だ」って言ったり。

司会　D子さんはどうかな。

D子　買い物に連れて行ってくれるって言うから、楽しみにしていたのに、「行けなくなっちゃった」って言って約束を守らないんです。

C子　私の親は、すぐに八つ当たりをするんです。

司会　アンケートでは、「差別するからムカツク」という理由もあるんですが…。

A男　ほかの子と比較するんですよ。なんで比べんのって感じ。自分は自分なのに。

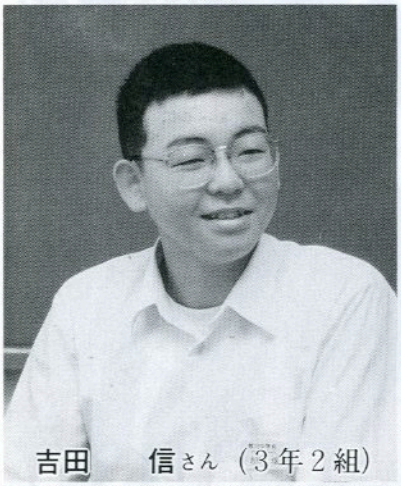
C子　そうだよね。あそこの子はやってるのに、なんであなたはやらないのとか。なんで同じくしなくちゃならないのって思う。

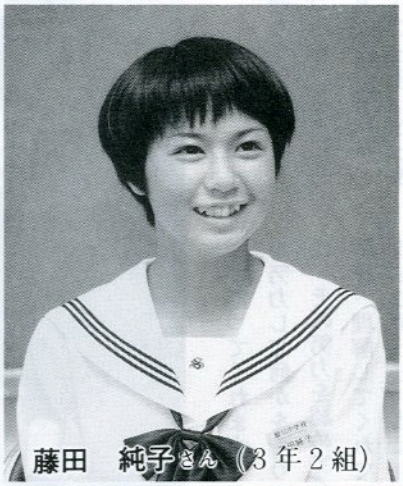
司会　そういうときどう思う。

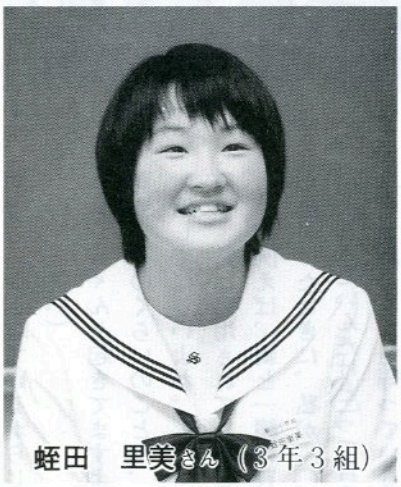
C子　お前の子どもだろうって。（笑い）


戸村有紀子さん（3年1組）


中川西吉栄さん（3年1組）


吉田　信さん（3年2組）


藤田　純子さん（3年2組）


蛭田　里美さん（3年3組）


中川西正光さん（3年3組）

ご協力いただいた中学生の皆さん

努力したことを認めてくれる

司会　「あなたの気持ちを親は理解していると思いますか」という質問では、半数近くの人が「理解していない」と答えています。一方、お父さんやお母さんは、「理解しているつもり」と九〇％の人が答えていますが。

A男　理解してくれている…かな、たぶん。

司会　どんなとき、理解してくれるのかな。

B男　何かミスをしたときに、そのことを話すと、「それはお前が悪いんだから」ってやさしく言って、僕のことを分かってくれると



精一杯頑張っています

親にだけは信用してほしい

司会　「親に信用されていると思いますか」という質問では、十人中七人の人は「信用されている」と答えていますが、皆さんは信用されていると思いますか。

A男　んー、たぶん…。

B男　僕は、信用されていないと思います。

司会　どうして。

B男　例えば、自分が朝七時に起きると決めて、目覚まし時計をセットしておくのに、三十分前に起こしにくるから。全然僕のことを信用していない。

司会　いつも寝ているからじゃないの。（笑い）

B男　ちゃんと起きてますよ。

司会　そのくらいのことは、親に信用してほしいよね。

D子　私は信用されていると思います。例えば、親と一緒に買い物に出かけたときに、私が「○○の店に行きたいんだけど」って言うと、「じゃあ、ここで待っているから行って来な。でも何時までには戻ってきてね」って言ってくれるから、結構信用されてるんだなぁって思います。

司会　C子さんは。

C子　私は、信用されている部分と信用されていない部分があると思います。

司会　どうしてかな。

C子　普通にしていれば信用されていると思うけど、普段の生活のだらしなさが信用されていないと思います。（笑い）

司会　信用してほしくないとは思わないよね。

D子　そうですね。親にだけは信じてもらいたいと思います。

言うこと、やること矛盾だらけ

司会　お父さんやお母さんに対して、言いたいことってありますか。例えば、ここを直してほしいとか。

A男　子どもにばっかり親は言うじゃないですか。「そういうことするな」とか。でも、親も同じことをするときがあるんですよ。矛盾していますよね。注意したくなりますよ。

C子　そうだよね。「無駄遣いするな」って子どもには言っておきながら、自分が無駄遣いしているときがあるんです。だから、「自分もそういうことしてるんだから、私に注意しない方がいいよ」って言うんだけど、「これはしょうがないの。欲しいものは欲しいんだから」って言うんですよ。矛盾しまくっていますよね。（笑い）

D子　「勉強しなさい」って言ってみたり、勉強中にもかかわらず、「手伝え」って言ってみたり。どうすればいいのって感じですよね。でも、なかなか親には言えないんです。

C子　親は「ほかの人は、ほかの人」って言うんだけど、私を怒るときには、ほかの人と比べるんですよ。

B男　僕は、大人の人に言いたいんですが、あいさつをしないわけではないのに、「声が小さい」とか言われるんです。ちゃんとして



るのに。

D子　大人はすぐに、「昔はこうだった」とか「私が若いころは…」って言いますよね。昔と今では時代が違うんだけど。

司会　そうだよね。

自分の個性を出したいのに…

司会　では、お父さんやお母さんに、これだけは分かってほしいということがあれば話してください。

B男　あまり「勉強しろ」って言わないでほしいです。しなきゃいけないってことは僕だって分かっているんだから。

D子　服とかを買うときに、自分の好きなものを選ばせてほしいですね。服ばかりじゃなくて、もっと自分の個性を出したいと思っているのに。

司会　もう少し自由にさせてほしいということですか。

D子　そうですね。

司会　親に怒られるとムカツクっていうこともあると思いますが、別な考え方をすれば、自分のことを考えてくれているんだなぁというとらえ方もできると思うんだけど、どうですか。

A男　そういう考え方もありますね。怒られることで、将来ちゃんとした大人にならなければならないって。でも、怒り方とか言い方ってありますよね。

C子　悪いことをしたら、ちゃんと叱ってくれるし、そのときはムカツクって思うけど、あとから考えると、自分が悪かったなって思って反省するときもあります。

同じことをしつこく言わないで

司会　それでは、親に対して尊敬することってありますか。

C子・お父さんは、仕事で嫌なことがあっても、愚痴一つこぼさず一生懸命やってくれているし、お母さんも、嫁姑の問題も頑張って乗り越えているから、大人ってすごいなぁって思います。

D子　「自分の思った通りにやってみろ」って、私の意見を尊重してくれたときには尊敬しますね。

司会　最後に、お父さんやお母さんに対して、何でもいいから一言。

C子　ちょっと恥ずかしいけど、いつもありがとう。

A男　もう少し、親らしくしてほしいですね。

B男　同じことを、何回もしつこく言わないでほしいです。

D子　私も、言われたことは一回で分かるから、何回も同じことをあまりうるさく言わないでほしいと思います。



修学旅行は沖縄へ（琉球村にて）

お互いに理解できれば

司会　今回、アンケートや座談会をやってみてどうでしたか。

D子　自分の子どもの意見だけじゃなくて、ほかの子どもの意見も分かるから、親もいろいろ考えてくれると思います。そしてお互い理解できればいいと思います。

司会　今日は、皆さんの考えをいろいろ話していただきありがとうございました。

揺らぐ心をどう受けとめる



清水国明さん(40)

しみず・くにあき　山村留学施設「竹飛歩（たけとんぼ）学園」の開設者の一人として、数多くの子どもたちと接してきた経験あり。

親として、思春期の子どもにどう接すればよいのか。不安定な心をどう受けとめればよいのか。人それぞれに考え方も接し方もさまざまだと思います。山村留学施設「竹飛歩（たけとんぼ）学園」の清水国明先生は、自ら中学生の子どもを持ち、また、学園開設以来、数多くの子どもたちと接してきました。その経験から、子どもとの接し方などについてお話を伺いました。

反抗は年齢的に当然

子どもと一緒に生活している中で、「勉強しなさい」とか「ゲームばかりするな」などと、割と目の前に見えることで注意することがあります。そして、親の言い方はだんだんエスカレートします。そういうとき子どもは、必要以上に言われると、自分という人格そのものを否定されているように感じるときがあるのだと思います。

反抗期というのは、親の言いたいことは分かっているが、それを素直に受け入れられないということがあると思います。それは年齢的に当然のことです。口では反抗しながらも、心の中では分かろうとしていると思います。そこで「何でそんな態度とるんだ」と怒ってしまうと、かえってかたくなにしてしまうということもあります。

自己主張は大人へのステップ

大人になっていく過程で、自分の考えを持ち、自己主張が出てきます。それをただ逆らっているというとらえ方をするのはいけないと思います。親に対する甘えもあり、助けを求めているのが反抗的な態度になって出てくることもあるでしょうし、一人前の人間になるために親の生き方に対しぶつかってくることもあると思います。それを受けとめられる心の大きさが親の威厳ではないかと思います。

子どもの自己主張に対して親が否定すると、もめたりすることが出てきます。それは、ただ子どもが親に反抗しているのではなく、自分らしさを見つけたいとか、主張したいことが出てきたという大人への一つのステップと考えてやる余裕があれば、親も子どもも楽だと思います。「何とかしなければ」「このまま非行に走るのでは」と親が臆病になると、子どもには親の嫌なところしか見えなくなってしまうと思います。

「自分らしさ」で子どもと向き合う

親として「言うべきことを言わなくてはいけない」「ここは絶対譲れない」という、き然とした態度は必要だと思います。親は子どもの言いなりではいけないし、きちんとした威信もなければなりません。それは、何でもかんでも頭ごなしに否定するのではなく…。

子どもが、「みんなが茶髪しているから自分もしないと嫌だ」とか「誰かがピアスしているから私もしたい」などというのは、あまり「自分らしさ」がないために流行に流されるのだと思います。

親として「自分らしさ」をしっかり持っているかといえば、「一般的にはこうだ」などという、いわゆる世間一般の常識に流されたり、「よそがこうやってるから、うちもやらないと…」などと思ってしまうこともあります。そこで「何で茶髪がいけないんだ」と子どもから言われたとき、親に自信がなければ、頭ごなしに押さえつけるしかないし、親にきちんとした威信というものがあれば子どもに通じるものがあると思います。

親の価値観は、いろいろあっていいと思います。厳しい親がいてもいいし、優しい親がいてもいい。人間は一人ひとり価値観が違うので、親自身の「自分らしさ」で子どもと向き合えばいいと思います。そこで子どもと親がぶつかったって、親は自分らしさを子どもに向けて、子どもはそれに反発しながら育っていくのだと思います。

子どもと一緒に成長する

子育ては、楽しくなければならないと思います。子どもを育てて得る喜びもあります。何の問題もなく終わらせることがいいのではなく、いろんなことにぶつかりながら、親も一緒に成長するという喜びがあると思います。「こういう子どもに育てられました」とか「こういう人間を残せました」という結果だけの喜びではなくて、子どもと一緒に考えたり、子どもに教わったりしながら、自分も成長できるのではないでしょうか。

親の「自分らしさ」を子どもにしっかり見せなければと思いつつ、子どもの自己主張も認めてやりたい。「子育てはこうだ」と線を引けないところに難しさがあり、逆に答えがないというところにおもしろさがあると思います。

自分を見失わず正直に



赤坂東野字草木
芳賀　文男さん（43）

私の子どもは女の子ばかり。そのせいか、成長するにつれ父親から離れていくようで、ちょっとさみしい気がします。

社会環境が様変わりする中、自分を見失うことなく、正直に生きてほしいと思います。

子どもの将来については、親が敷いたレールにのせるのではなく、自分の意志を強く持って、自ら敷いたレールで、夢に向かって努力する人間に成長することを願っています。

叱るのではなく話し合う



赤坂中野字二本田
湯坐みつ子さん（46）

私の家は専業農家だからかもしれませんが、子どもと接する時間は比較的多いと思います。食事は家族みんなでとることを心がけ、そこで学校での出来事などを話し合っています。

また、子どもの心の変化に注意し、話すきっかけをつくるようにしています。

叱るのではなく、話し合うことを心がけ、親として教えるべきことは、きちんと教えるようにしています。

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたらさしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111 内線214）

さわやか高原ロードレース大会

村体育協会の主催による「第八回さわやか高原ロードレース大会」が、六月七日、鹿角平観光牧場周辺で行われました。

今年は、村外からの参加者も募集し、昨年より百十一人多い二百八十二人が健脚を競いました。各部門別の優勝者は次のとおりです。

▼男子フリー五km＝片野大輔（学校石川高）▼男子フリー三km＝岡部隼人（大塩・棚倉高）▼男子三十五歳以上二km＝渡部祐次（㈱アトックス）▼男子小学五・六年二km＝蛭田祐慈（渡瀬小）▼男子小学三・四年一・五km＝猪狩祐太（塙小）▼男子小学一・二年一km＝瀬谷岳仁（青生野小）▼女子フリー三km＝溝井明日香（小野中）▼女子二十五歳以上一・五km＝小瀧幸子（新宿）▼女子小学五・六年二km＝遠藤えりか（鮫川小）▼女子小学三・四年一・五km＝椎根李紗（日和田小）▼女子小学一・二年一km＝赤坂里紗（渡瀬小）▼親子一km＝嘉成靖・大典（矢祭町）◎夫婦一km＝石井重幸・光子（青生野）



さわやかな高原を力走する子どもたち

少林寺拳法スポ少 トレセンを清掃



トレセン周辺のゴミを拾う子どもたち

5月23日、少林寺拳法福島鮫川スポーツ少年団の皆さんが、農業者トレーニングセンターを掃除しました。

日ごろお世話になっているトレーニングセンターに感謝し、少しでも地域に貢献しようと行われたもので、少年団の子どもたちとその保護者ら約50人が参加しました。

アリーナ内の窓ふきやトイレの清掃、駐車場や周辺のゴミ拾いなどが行われ、おかげ様で大変きれいになりました。

こんにちは保健婦です

心・技・体



村保健婦
蛭田みゆき

先日行われた大相撲夏場所の結果に心を踊らせた人も多いかと思います。

「心・技・体」という言葉がありますが、この言葉は、もともと相撲の世界から出たものだと言われています。しかし、「体」を使い、「技」を競うものであるのに、どうして「体・技・心」と言わないのか不思議だと思いませんか。ところが、この言葉の順序が一番大切であり、意味が深いことだと思います。厳しい勝負の世界だからこそ「心」、心理的な安定や強さ、意欲といったものが不可欠なのかもしれません。

さて、このことを健康に当てはめてみるとどうでしょう。年齢を重ねるにつれ、人は健康でありたいと願う気持ちが強くなります。しかし、いつまでも若く、健康でありたいという気持ちには関係なく、

第49回地方植樹祭

「森の中　緑がゆれる　笑ってる」をテーマとした白河市と西白河郡、東白川郡の「第四十九回地方植樹祭」は五月二十一日、ひだまり荘周辺で行われ、関係者ら約二百五十人が参加しました。

青少年広場で行われた式典では、国土緑化東白川推進委員会委員長の芳賀村長が「豊かな緑の恩恵を再認識し、感謝してほしい」とあいさつ。引き続き、緑化功労表彰が行われ、西野緑の少年団育成会、夢楽会議21、鮫川中央林業研究会、鈴木一さん（鍬木田在住）に賞状が手渡されました。

記念植樹は、ひだまり荘前で行われ、芳賀村長ら代表者と西野緑の少年団員が、村の木「シラカバ」、県の木「ケヤキ」、「ナツツバキ」を一本ずつ丁寧に植えました。また、参加者全員で、付近の斜面にキリシマツツジ二百本とエノキ三十本を植樹しました。



植樹する関係者ら

学校環境緑化コンクール
西野小が全国表彰

西野小学校は、５月10日に群馬県立森林公園で行われた「第49回全国植樹祭」の席上、全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で、入選にあたる国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

同校は、「緑に親しみ、緑を愛し、緑を育てる活動」をテーマに、花壇活動や植樹活動、森林・野鳥保護活動などを積極的に行い、緑化環境を生かした学習に取り組んでいます。



受賞を喜ぶ山本校長（左）と石井ゆかりさん（６年）

「ご長寿早押しクイズ」が鮫川に

五月二十四日、テレビユー福島（TBS系）の日曜夜七時の番組「さんまのスーパーからくりテレビ」の人気コーナー「ご長寿早押しクイズ」に、鮫川村の元気なお年寄りが登場しました。

今回出演したのは、見事予選を通過した小松キイさん（大戸中・九十八歳）、阿久津光翁さん（折戸・八十二歳）、岡部千代喜さん（大塩・八十一歳）の三人。

収録は、五月一日に「さぎり荘」で行われ、司会の鈴木史朗アナウンサーから問題が出されると、思いもつかないユニークな答えが続出し、会場は笑いの渦。

優勝に輝いたのは、阿久津光翁さんでした。



左から小松さん、岡部さん、阿久津さん

体は衰えていきます。いかに健康を維持して、いきいきとした老後を過ごすかは、本人の心の持ち方しだいでもあると思います。そして、それを支えるのは、人と人とのつながりであると思います。しかし、最近は人と人とのつながりが希薄になってきたと言われています。それは、地域や職場だけでなく、家庭の中でも言えることです。

中学生が「キレた」という事件が多発していますが、これは感情が「キレる」だけでなく、人と人との心のつながりが「キレる」という意味もあります。そして、人と人との心のつながりが「キレた」ときに、人は「死」を考えるといいます。たった一人とでも心がつながっていれば、人は「死」を思いとどまるそうです。

人と人とのつながり、ふれあいの中で「心」が安定し、人生の中での「技」に相当する「生きがい」や自分の人生への価値が見いだせ、磨けるのではないかと思います。そして、これらのバランスがとれてこそ、良い「体」、健康が結果となって実現すると考えることもできるのではないでしょうか。

ふれあいひろば





村民リレー ③

一粒の種（たね）

満月が眩しいほどに輝く仲秋のある晩、中学三年（もちろん無免許）の俺は、トレーラー付きの耕うん機をひっぱり出し、約一時間かけて隣町へと下った。目的は、親戚の大工さんから建築廃材をいただくためだ。その貴重な廃材で、以前から夢を描いていた二坪余りのビニールハウスを完成させた。そして、わずかな小遣いで買った一握りのシクラメンなどの種子を蒔いた。待望の種が芽生えたあのときの感動は今でも脳裏から離れない。

あれから三十余年。初老を過ぎ、草花のことなど忘れかけていた俺に「焼けボックイに火」が着いた。二日酔いの頭を抱えてでも早起きし、二十坪程のビニールハウスで育つ可愛い草花達に会いに行くのが楽しみの昨今。

一粒の種（たね）が条件を満たして発芽し、さまざまな環境を経ての開花。そして、その見事なほどの生命力は、人間には持ち得ない純粋な教訓を与えてくれる。

試行錯誤の中での「地域づくり」。将来を担う子どもたちとともに、一粒の種（たね）から大きな花を咲かせたいと願う。

次回は、関根さんの紹介で、山形豊子さん（渡瀬）の登場です。



関根政雄さん(42)

大字赤坂西野字荻ノ沢在住。造園業経営。地域づくりグループ「夢楽会議21」の会長を務める。趣味は、オートバイ（磨くだけ）、ゴルフ（本人談＝下手の横好き）。

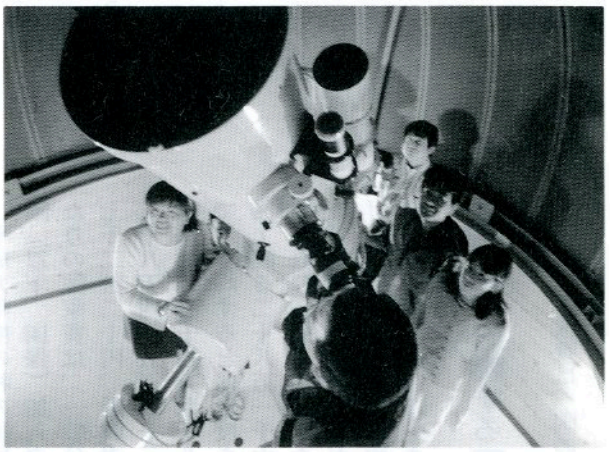
文芸

俳句

閉ざされたままの御堂や遠閑古　金沢　暁舟
看板の洋文字並ぶ朝の市　中井　恒峯
楽翁の湖より引ける田植水　矢部　正子
四囲の山田水に映る五月晴　大池　魚水
花吹雪屋根も庭も白く染め　小山田清哲
満々の水はみどりを映し澄む　斉須　信子
病い押し畦道指導田植時　北條素人坂
くくこと蛙日暮へ到り着く　山本　朗史
かえるの声子守歌とも床につく　金沢三津子
防人もアッツ小桜愛でしかも　黒田　寿香
童顔の柔一筋春闌ける（やわらちゃん）　山本五十鈴
サボテンの花うるわしき夢一夜　前田　信子

短歌

機内放送高度三千五百といふ小窓に映る富士のシルエット　鈴木イミ子
わが打ちしそばの出来映え歌の師を招びて今宵試味して貰う　森　守
雪の斜面一直線に上りし跡健在なりしよかの山うさぎ　水野　国勝
ずっしりと雪は積もれど松の枝は受けて耐えおりよりしなやかに　大平　太平
洗わんと外せし入れ歯これも身の一部なりせばしみじみと見る　蛭田　浩市



仲間たち

鮫川天文愛好会

会長 中川西寿彦・会員16人

はるかなる宇宙には、幾千もの神秘とロマンがある――。そんな宇宙のロマンを語り合えるのが鮫川天文愛好会。月一回の定例会のほか、村主催のイベント「鹿角平宇宙のロマンとの出会い」への協力、視察研修などを行っています。

「鮫川村には、満天の星空がある。だから、もっと多くの人に星のことを知ってほしい」と会長の中川西さん。あなたも、星のささやきを聞いてみませんか。

▼とき…毎月第3週の土曜日**▼ところ**…鹿角平天文台**▼問い合わせ**…中川西寿彦さん（☎49-2627）または、村企画調整課（☎49-3111、内線222）

店前の工事に交通整理マン旗振りながら愛敬を撒く　須藤　重晴

湯の宿に飲めば眠れぬコーヒーと知りつつ飲みし女の愚かさ　田子　澄江

孫たちも成長せるか天気見て今日は己の布団干したり　本郷　チヨ

もてなしのお茶請の蕗に香りあり友の指先黒く染まりて　小松セツ子

湯治湯にいつもの友と賑わいて日頃のストレス湯舟に流す　赤坂　朝子

山独活に生味噌つけてまる齧り地酒にほろ酔う至福の夕餉　蛭田　正

都会の孫山菜取りで独り言田舎は良いなあ山でおかずが取れて　藤田　末光

接待も贈収賄も馴れの果潤滑油など錯誤のきわみ　松本　一郎

葉脈と葉の縁取りの濃く薄くカラジュウムの葉の日に向き勢う　須藤美代子

東京鮫川会からこんにちは

東京鮫川会に思う



武藤力二さん
東京都江戸川区在住
渡瀬字青生野出身

東京鮫川会が結成され、第一回総会が大田区浦田ステーションホールで行われてから、早いもので十一年が過ぎました。総会では、中学を卒業して二十年ぶりで同級生に会ったり、なつかしい先輩に会って時間を忘れて話したことが、昨日のように思い出されます。また、初めのころは、役員会が年に何度か行われ、その後懇親会に入るのですが、郷里の話になると、私は青生野出身で誰も知っている方がいなく、話の輪の中に入ることができず、寂しい思いもありました。

でもそのころ、テレビ、ラジオ、新聞などで、村おこしの話が一段と話題になっており、少しでも役に立てればと思い、いろいろのイベントにも参加してきました。ソフトボール大会、高原の鮫川うまいもの祭り、村民ゴルフ大会、ふる里探訪ツアー。みんな楽しい思い出です。

その中でも一番印象に残っているのが、村民ゴルフ大会です。強い雨の中、霧で一寸先が見えない所でのプレーで、打った球がなくなってしまったり、グリーン上は水がたまってボールが転がらなくて大変苦労しました。

私も、五十歳を目前にしていますが、お陰様で今日まで病気やケガで入院することもなく過ごすことができました。これも鮫川の大自然の中でのびのびと育ったためと感謝しております。

これからも田舎を忘れず、東京鮫川会を通して、少しでも鮫川村の発展と親ぼくに貢献できるよう、いつまでも参加していきたいと思っています。

東京鮫川会員の皆さん、あなたも「広報さめがわ」に登場してみませんか。ふるさとへの思い、近況などテーマは自由です。原稿を600字程度にまとめて、総務課広報担当まで写真を添えてお寄せください。

くらしの情報

鮫川村役場　☎49-3111(代表)

国保

一人当たり医療費 過去最高の28万1千円

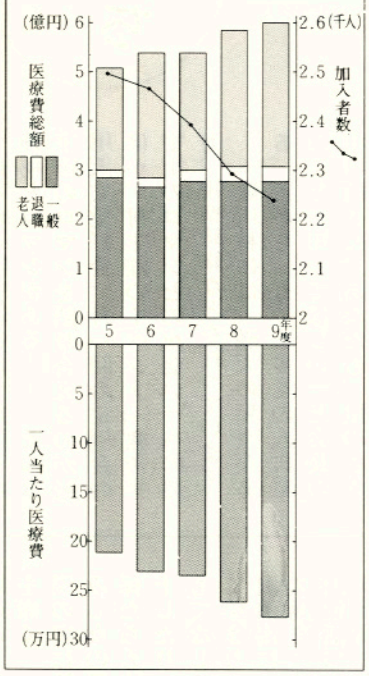
平成九年度の村の国民健康保険（以下、国保）加入者一人当たりの医療費は、一般分十八万七千二百二十円、退職者医療分三十八万四千五百九十三円、老人保健分五十四万九千八百一円で、平均すると前年度を五・二%上回る二十八万一千六百七十円となり、過去最高となりました。このように医療費が増え続けているため、国保財政は年々厳しい状況になっています。

国保税に影響する医療費

国保の医療費は、国の負担金、受診の際の自己負担金、そして、皆さんに負担していただく国保税で支払われています。

国保税の額は、その年にかかると予測される医療費を見積り、その額から受診の際の自己負担金や国の負担金などを差し引いた額となります。このまま医療費が増え続けると国保財政は圧迫され、相互扶助を目的とした健全な国保運営をしていくためには、国保税も値上げしなければならなくなります。

国民健康保険医療費等の推移



平成10年度の税率

国保税は、経済能力に応じて負担する「応能割」と、平等に負担する「応益割」をそれぞれ五〇対五〇として税率を決めます。

平成十年度は、次のような税率で国保税を負担していただくことになりましたので、ご理解とご協力をお願いします。

応能割

応能割には、所得割額と資産割額があります。

◎**所得割額**…前年度の所得から一定の額を差し引き、その額に一定の率を掛けた額＝**五・〇七%**（平成九年度…四・一六%）

◎**資産割額**…その年の固定資産税（土地や家屋）に一定の率を掛けた額＝**四二・一〇%**（平成九年度…四一・九七%）

応益割

応益割には、均等割額と平等割額があります。

◎**均等割額**…国保加入者一人当たりの額＝**二万三千六百円**（平成九年度…二万八百円）

◎**平等割額**…各世帯に均一の額＝**三万二百円**（平成九年度…二万七千八百円）

低所得世帯については、一定の基準により、応益割から七割、五割、二割の軽減が行われます。

〔**国保税に関する問い合わせ**〕総務課税務係（内線218）

村の人口

5月1日現在・（）は前月比

人口	世帯
4,921人（＋7）	1,116戸（＋10）

男	女
2,441人（＋5）	2,480人（＋2）

今月の納付

- 国民健康保険税　1期分
- 国民年金保険料　6月分

納期限　6月25日(木)

（納期内に納めましょう
口座振替の方は残高確認を）

こちら窓口

5月1日から31日までの届け出分

●お誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	月／日	保護者
東前田	薄井（うすい）　歩（あゆみ）	5／7	清巳
大沢	石井（いしい）　美穂（みほ）	5／13	明光
関ノ上	中川西（なかがわさい）愛美（まなみ）	5／14	久男
青生野	堀川（ほりかわ）　一騎（かずき）	5／18	優
巡ケ作	三瓶（さんぺい）　鴻太（こうた）	5／18	格吉

●おくやみ申し上げます

地区	亡くなられた方	月／日	年齢
横座	矢吹　茂	5／1	89
前沼	岡部　トメ	5／4	87
余所内	関根　トモ	5／15	98
新宿	五十嵐ユヱ子	5／17	72
大平	本郷　廣美	5／20	73
彦次郎	鷲野谷敏男	5／25	62

〔**休館日**〕月曜日・祝祭日の翌日　〔**問い合わせ**〕村民保養施設「さぎり荘」（☎49-2205）または、村社会福祉協議会（☎49-3600）

募集

ふくしま駅伝 鮫川村チーム選手

第十回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が、十一月二十二日（日）、白河市陸上競技場をスタート、福島県庁前をゴールとする103キロ、十五区間のコースで行われます。

ふくしま駅伝鮫川村本部では、次により選手候補者を募集し、各種ロードレースへの参加、選手選考会などを行い、出場選手を選考します。

陸上競技経験の有無は、特に問いません。あなたの応募をお待ちしています。

〔募集対象〕 鮫川村在住者および鮫川村出身者（中学生以上の男女）で健康な方

〔募集締め切り〕 八月三十一日（月）まで

〔申し込み・問い合わせ〕 ふくしま駅伝鮫川村本部事務局（山村開発センター内、村教育委員会生涯学習課社会体育係、☎49-2247）

税務

個人住民税の納付が7月からになります

今年度、村民税と県民税の特別減税が実施されるため、次の方法により納付していただきます。

①給与所得者の場合

従来は、一年分を六月から翌年五月までの十二回に分けて給料から控除していましたが、今年度は、減税後の額を七月から翌年五月までの十一回で給料から差し引きます。

②給与所得者以外の人

第一期の納期は六月でしたが、今年度は一カ月遅らせ七月に納めていただきます。特別減税分は、所得割額から控除されます。

なお、第二期分以降の納期は変更ありません。

〔問い合わせ〕 総務課税務係（☎内線217）

「さぎり荘」の利用時間を延長＝村民保養施設「さぎり荘」の利用時間を4月から延長しました。〔**利用時間**〕午前10時～午後7時

史・資料を探る

村史編さん室

天保十五年（一八四四）高坂精一家文書

小見川藩脇乙吉人足継立先触

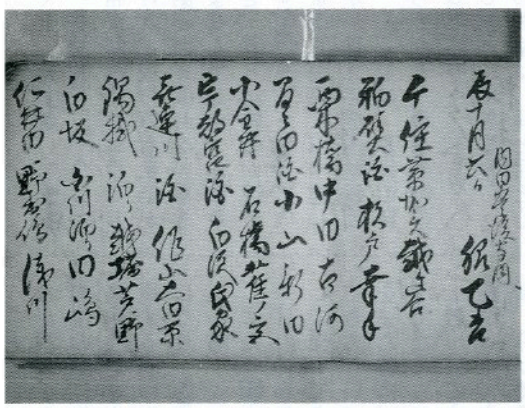
前々号では、棚倉藩森脇啓太郎所用、楢葉郡富岡から棚倉城下までの通行駅々（本村宝木・塚本経由）三泊四日の行程を見ましたが、今回は、小見川藩（内田豊後守）家臣脇乙吉なる者が、所用にて江戸屋敷から赤坂中野役場（陣屋）までの六泊七日の行程における乗駕籠壱挺に二人、両掛壱荷に一人、計三人の人足継立の先触です。江戸時代、大名の江戸参勤は大名統制の根幹でしたが、これがための藩の負担は大きく容易でなく、江戸賄いのための調達がしばしばなされた文書も陣屋日記中に見られるところです。江戸屋敷は、幕府が参勤制のため大名に与えたもので、小見川藩江戸屋敷は麻布（現港区）目ケ窪に置かれたことが他の文書から知られます。

脇乙吉は、当然公用で赤坂中野陣屋に罷り越し、帰路はまた先触をもって人足、馬などの宿駅継立により帰着することとなります。

こちらから江戸屋敷への所用があるときの往還にも、この道筋が利用されたことが考えられます。

覚

一、人足　三人



此訳　乗駕籠壱挺　弐人
両掛壱荷　壱人

右は来る九日江戸屋敷出立、豊後守領分奥州白川郡赤坂中野役場迄罷り越し候条、書面の人足遅滞なく御差出給るべく候、以上

（天保十五年）辰十月六日　内田豊後守内　脇乙吉

千住、草賀（加）、越ケ谷、粕壁泊、松戸、幸手、栗橋、中田、古河、間々田泊、小山、新田、小金井、石橋、雀（雀）ノ宮、宇都宮泊、白沢、氏家、喜連川泊、作山、大田原、鍋掛泊、越堀、芦野、白坂、白川泊、田島、仁井田、野出島、浅川、塚本

右宿々　問屋中

尚此先触中野役場迄御届け給るべく候、以上

十月十四日浅川より受取
西野村へ継ぎ

白川からは一日の行程（十里＝約四十キロ）です。道が平坦であったためかと思われます。





早期教育より大切なもの

大字富田字二反田　**戸室真理子**さん

うちの長男優理（小学一年）は、東京の幼稚園に通っていたとき、「薔薇組　戸室優理」とクレヨン一本一本にいたるまで、持ち物すべてに漢字で名前を入れるように指導されていました。そこは漢字の早期教育を行う幼稚園でした。別に、漢字の勉強をさせたかったわけではなかったのですが、そこしか通えるところがなかったからです。

（中略）

幼稚園からは、基本的な生活態度に関してはほとんど何も言われず、時々、漢字絵本などを持ち帰って来ていました。

保育参観に行くと、落ち着いて先生のお話を聞いていない園児が数人いて、一人か二人必ず席を離れてウロウロしています。おまけに、親の方も私語が多く、先生のお話が聞き取れない事もめずらしくありませんでした。あまりの騒々しさに驚き、昔とは時代が違うのかなあと自分を納得させていました。

そして今、東京から福島に引っ越して、長女の優佳が、地元の鮫川幼稚園に通っています。そこでは、お箸の持ち方や茶碗の持ち方など、食事の時のお行儀についても徹底的に、やさしく、厳しく、繰り返し教わってきます。

それに「先生のお話は、耳と目と心で聞きましょう」と習ったとのことで、なるほど、保育参観では、全員の子どもが背筋をのばして、私語ひとつせず先生の話に集中していました。すごい集中力だなあと本当に驚きました。参観する親の方も、自然と厳粛な気持ちになり、先生の話に耳を傾けています。

（中略）

また、園内では裸足で遊びまわり、一日の終わりには、園児が雑巾掛けをして帰ってきます。だから園内は、とてもきれいです。ですから鮫川幼稚園を見た時は、「やっぱり、幼稚園はこうでなくちゃ」と思いました。

鮫川村のすばらしい人間性と自然に感動して、主人が家を建てたのは六年前。今はその選択が間違いなかったと感じています。（三月に執筆。五月二十九月付、日本時事評論に掲載）

普段あなたが考えていること、村づくりに関する意見、提案など、皆さんの声をお寄せください。（住所・氏名明記、紙上匿名可）　〒963-8401 鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5 鮫川村役場「広報さめがわ」行　ＦＡＸ49－2651

シルバー人材センターが設立しました

鮫川村シルバー人材センターの設立総会が、五月二十八日に山村開発センターで行われ、村商工会内に事務局が設置されました。

高齢者の皆さん、あなたの豊かな知識・経験・技能を、地域社会で生かしてみませんか。

また、センターでは、さまざまな仕事をお引き受けしますので、事業所やご家庭でご利用ください。

〔作業内容〕　除草、草刈り、植木の手入れ、留守番や家事の手伝い、家屋の清掃、一般事務、経理事務、ワープロ、賞状・宛名書き、簡単な大工仕事、刃物とぎ、工場内の臨時的短期作業など

働きたい人募集しています

〔入会できる人〕

①鮫川村に居住する、おおむね六十歳以上の人（男女は問いません）

②定年退職された人

③農閑期に働きたい人

以上の条件に該当し、健康で働く意欲のある人

〔入会方法〕

①直接本人が事務局に来ていただき、説明を受けてから入会手続きをします

②細部については、事務局に問い合わせください。

〔年会費〕　1、000円

〔その他〕

①働いた仕事量に応じて配分金を支払います

②会員の就業は雇用ではありませんので、万一事故が発生した場合は、シルバー保険で対応します

年金

年金の支払い通知が年一回になります

年金の支払（振込）通知書は、これまで支払いの都度（年六回）社会保険庁から送られていましたが、今年から、毎年六月に一年分（六月支払い分から翌年四月支払い分まで）まとめて通知されることになりました。

なお、年金の支払いについては、今までどおり年六回です。

〔問い合わせ〕　住民課福祉係（内線234）

を掲載した「里の春」を発行しました。欲しい方は無料で差し上げます。〔**問い合わせ**〕村公民館（☎49－2247）

休日の当番医

月日曜	病・医院名	所在地	電話番号
6/21(日)	東白川中央病院	棚倉町	33-3263
	石川医院	塙町	43-0003
	大野病院	石川町	26-1181
6/28(日)	藤田医院	棚倉町	33-2013
	木村医院	矢祭町	46-3528
	田中内科医院	石川町	26-3333
7/5(日)	あらまちクリニック	棚倉町	33-8018
	金沢医院	矢祭町	46-2312
	中島病院	石川町	26-3415
7/12(日)	緑が丘診療所	棚倉町	33-9468
	東舘診療所	矢祭町	46-3165
	大野病院	石川町	26-1181
7/19(日)	杉山胃腸科外科皮膚科	棚倉町	33-7551
	中島医院	塙町	43-0373
	中島病院	石川町	26-3415
7/20(月)	和田医院	棚倉町	33-2012
	車田病院	塙町	43-1019
	富永医院	浅川町	36-2027
7/26(日)	勝田医院	棚倉町	33-3008
	塙厚生病院	塙町	43-1145
	会田病院浅川診療所	浅川町	36-3705

ごみ収集日

収集場所	種別	6月	7月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	2.6.9.13.16 23.27.30
	不燃物	12.26	10.24
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	2.6.9.13.16 23.27.30
	不燃物	10.24	8.12
鮫川分校（不燃物のみ）鮫川中学校コース	可燃物	1.4.8.11.15 18.22.25.29	2.6.9.13.16 23.27.30
	不燃物	11.25	9.23
関下～越虫～青生野小学校～世々麦～葉費～蕨ノ草～中沢～関口コース	可燃物	3.10.17.24	1.8.15.22.29
	不燃物	10.24	8.12
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢コース	可燃物	3.10.17.24	1.8.15.22.29
	不燃物	11.25	9.23
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	3.10.17.24	1.8.15.22.29
	不燃物	12.26	10.24
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	3.10.17.24	1.8.15.22.29
	不燃物	19	17

お気軽にご利用ください

次のようなときには、シルバー人材センターにご連絡ください。相談に応じます。

〔こんなとき〕

①新たに人を雇うほどではないが、決まった期間内に一定の仕事を処理しなければならないとき

②急に臨時の仕事ができて、その仕事が高齢者に向いていると考えられるとき

③家庭内での家事援助や、専門の業者を頼むほどではない簡単な大工仕事、植木の手入れ、障子の張り替えなどの人手が必要なとき

〔その他〕

①仕事の対価は、センター事務局との話し合いで決めます

②事務費として対価の五%を負担していただきます。

③センターが引き受けた仕事に対しては、センターが責任を負います

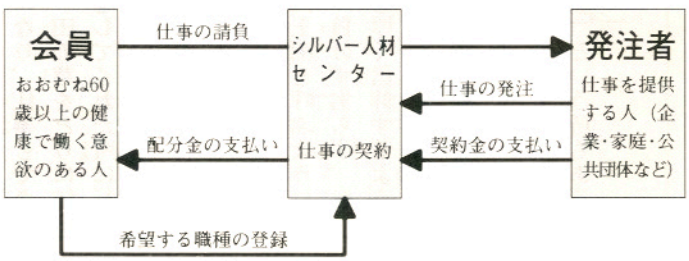
④高齢者の安全に配慮して、危険、有害な仕事は引き受けません

⑤作業請負代金は、一括してセンターが受け取り、従事した会員に配分金を支払います

＊――――＊

〔問い合わせ〕 鮫川村シルバー人材センター事務局（村商工会内、☎49-2171）

シルバー人材センターの仕組み



相談

心配ごと相談

〔日時〕 ①六月十九（金）・②七月二十一日（火） いずれも午前十時～午後三時

〔場所〕 山村開発センター

交通事故巡回相談

〔日時・場所〕 ①六月二十三日（火）＝石川町役場 ②七月八日（水）＝棚倉町役場 いずれも午前十時～午後三時

寄付

（敬称略）

▼**社会福祉事業のために**＝矢吹廣信（横座）岡部康嘉（前沼）関根久翁（余所内）五十嵐伸一郎（新宿）本郷良勝（大平）鷲野谷サク（彦次郎）矢吹三郎（東京都武蔵村山市・中沢出身）

▼**ひだまり荘に**（マッサージ器ほか3品）＝星英資（彦次郎）

▼**鮫川村奨学基金に**（役場退職にあたり）＝鷲野谷武志（彦次郎）

▼**広報紙郵送料として**＝荒川忠弥（栃木県宇都宮市・越虫出身）

社会学級文集「里の春」を差し上げます―村公民館では、昨年度の社会学級受講生の作品（随想、俳句、短歌など）

平成10年6月号 No.534
発行・編集／鮫川村役場総務課

〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL（0247）49-3111 FAX（0247）49-2651

印刷／佐藤印刷所

ふるさとのむかし話 ③

彦次郎の仁王田

むかしむかし、正直で、お薬師様への信仰が大変厚い、彦次郎という百姓がおりました。

ある年の春、彦次郎の家では、子どもたちが次々と流行りの病で亡くなり、妻は長い間重い病気で寝たままとなり、彦次郎も健康がすぐれず、寝たり起きたりの不幸が重なりました。そして、よそでは田植えも終わったというのに、田の代かきもできない状態でした。しかし、こんなときでも彦次郎は、お薬師様への日参をできる限り欠かしませんでした。



そしてある朝「こんにちは、こんにちは」という元気な声に、彦次郎が健康のすぐれない重い足取りで出てみると、身の丈六尺（約一・八メートル）はある、屈強な若者二人が、「今日は仕事の手伝いに来ました。農具を貸してください」と言うと、クワやスキを持ち、彦次郎の田へさっさと行ってしまいました。そして、夕方になると、明日来ることを彦次郎に告げると、さっさとどこかへ帰ってしまいました。次の朝、若者二人は、また農具を借りに来ると、彦次郎の田へ行くのでした。

この日は、彦次郎は気分がすぐれ、お薬師様へ日参しようと自分の田を通って行くと、田植えはすっかり終わり、農具はきれいに洗われ、田のくろに置かれていました。二人の若者が見当たらないので、不信に思いながらお薬師様へ行くと、仁王門の中の仁王様の足が、泥まみれになっていました。彦次郎は大変に驚き、お薬師様が仁王様を二人の若者にして、お遣わしくださったに違いないと、大変に感謝しました。

その後、彦次郎夫婦は病気も治り、大変元気になり、仕事もできるようになり、田の草をとりに仁王様が田植えをしてくれた所に行くと、あれほど吸いつかれて苦しめられた蛭が、うそのようにいなくなっていたそうです。

その後、その辺りの土地を彦次郎、その田を仁王田と呼ぶようになり、彦次郎に負けず劣らず、村人もお薬師様を厚く信仰するようになりました。また、お薬師様の近くには、彦次郎の田植えを手伝った時にケサがぬれてしまったので、仁王様がケサをほしておいたという「ケサ石」という所もあるそうです。

今月の表紙



夫婦仲良く

さわやか高原ロードレース大会の一コマ。今年から設けられた「夫婦の部」では、7組のおしどり夫婦が、手を取り合って力走しました。（各部門の優勝者は、12ページをご覧ください。）

あとがき

今回の特集で、竹飛歩学園の清水先生を取材し、思春期の子どもとの接し方や子育てについて話を伺いました。清水先生いわく、「お話したことは、あくまで私自身が考えることであって、人それぞれに違う考え方があっていいと思う。子育てには、『答え』があるわけではないから…」。広報では、考え方の一つの例として取り上げてみましたので、皆さんの考え方と照らし合わせてみてはいかがでしょうか。（舟木）